

第 32 回 超音波による非破壊評価シンポジウム 講演（口頭・ポスター）募集

本シンポジウムでは超音波を用いた測定・評価に関する講演を幅広く募集します。当協会の会員ではない方の講演・参加も歓迎します。検査現場からの生の声、検査に成功したもののその理論的解釈に苦しんでいる例、結果が予想と乖離して困っている例などのご発表も歓迎します。

また、ポスターセッションを設ける予定です。同セッションでの濃密な議論を通じた研究の理解と深化を期待します。申込時にポスターまたはオーラルの選択をお願いします。なお、申込状況によってはご希望のセッションにならない場合がありますことを悪しからずご了承ください。

We welcome presentations in English by students and researchers from abroad. We will gratefully appreciate your contribution to the symposium.

主な募集テーマのカテゴリー（下記に属さないテーマも歓迎します。）

1. 一般セッション ^注

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1) 超音波探傷・測定装置に関するもの | 2) 超音波の基礎・理論に関するもの |
| (1) 超音波探傷装置及びその適用 | (1) 波動理論・解析・シミュレーション |
| (2) 超音波探触子及びその適用 | (2) 超音波の送受信 |
| (3) 超音波を利用した測定装置 | (3) 超音波伝搬の可視化 |
| 3) 超音波探傷・評価・測定技術に関するもの | 4) 超音波測定・評価技術の応用に関するもの |
| (1) 超音波映像法 | (1) 現場での応用事例 |
| (2) フェーズドアレイ法 | (2) 各種構造物への適用 |
| (3) TOFD 法 | (3) 各種材料（金属、非金属、新素材、土木）への適用 |
| (4) 非線形超音波法 | (4) 各種信号処理 |
| (5) レーザ・電磁・空気結合など非接触超音波法 | (5) 表面・界面・局所領域の評価 |
| (6) ガイド波 | 5) 製品紹介 |
| (7) 音弾性 | (1) 技術開発の要素を含んだ製品紹介 |
| (8) AE | |

2. ポスターセッション（ポスター賞選考対象）

主 催 : (一社)日本非破壊検査協会 超音波部門
会 期 : 2025 年 1 月 21 日 (火) ~22 日 (水)
開催形式 : 完全対面 (会場: (地独)東京都立産業技術研究センター青海本部)
参加費 : (論文集含む) [消費税込]

JSNDI 正会員	4, 000 円
登壇者 (学生会員の方は 3,000 円)	4, 000 円
学生会員	3, 000 円
協賛団体会員	6, 000 円
非会員 一般	8, 000 円
非会員 学生	4, 000 円

講演申込締切 : 2024 年 11 月 6 日 (水)
講演論文締切 : 2024 年 12 月 13 日 (金)
講演論文集 : 印刷物 (紙媒体)、または電子媒体で配布します。
講演論文 : 2 頁、4 頁、または 6 頁 (英語論文及び英語での発表可。執筆要領は受付後送付します。)
講演申込方法 : 超音波部門ホームページ (<https://sciences.jsndi.jp/ultrasonic/studygroup/symposium>) よりお申し込み下さい。講演申込受付後、受付確認のご連絡を差し上げます。受付確認の連絡が届かない場合は、ご連絡くださいますようお願いいたします。

問 合 先 : 〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-25-14 京阪亀戸ビル 10 階
(一社)日本非破壊検査協会 学術課
「第 32 回 超音波による非破壊評価シンポジウム」係
TEL: 03-5609-4015 E-mail: beppu@jsndi.or.jp

注) シンポジウム会期中に満 30 歳以下の登壇者は新進賞の選考対象となります。授賞対象者は、当協会正会員（個人会員、団体会員の登録者）及び学生会員であり、非会員については、後日会員になることが条件です。但し、既受賞者は対象外（学術関連の他賞を含む）です。上記の条件に該当する発表者は講演申込に会員資格・生年月日・年齢を必ずご記入の上、お申し込み下さい。記入がない場合は審査対象外となりますので、ご注意ください。

- 各セッション及び特別講演の全てにおいて、会場の発表資料の撮影（録画）、録音、保存、印刷等の行為は禁止します。
- 当会で行われた講演の抄録については、国立研究開発法人科学技術振興機構（以下 JST）が管理する文献データベース（JDreamIII、J-GLOBAL）への収録および人工知能「AI」に関連する利用が行われる場合がありますので、予めご了承ください。なお、抄録は JST の著者抄録利用方法により取り扱われます。